



ニューズレター あすか

2007
9月号

通算 174号

2007年9月1日

「第49回あすか交流会」を開催しました

平成19年7月21日(土)

あすか交流会は天候にも恵まれ、たくさんの方々にご参加いただきました。地域密着型サービスの小規模多機能事業所「つどいの家」、認知症対応通所介護事業所「野ばら」をスライドやビデオを交えて紹介させていただきました。また、通所介護事業所の要支援のご利用者様対象に取り組んでいるセルフケアプログラムや口腔ケア体操・歯ブラシの紹介をしました。また、食事の介助方法や立ち上がり介助のポイント等をお伝えし皆様に大変喜んでいただきました。後半のスタッフとご家族の交流の場では、デイでの様子をお伝えして安心していただいたり、ご家庭の様子をお聞きしたりすることが出来ました。ご家族とスタッフのためのあすか交流会ですが、これからもきめ細かい情報交換を行い、よりよい介護サービスに結び付けたいと思います。あすか交流会は法人内のCS委員会が担当しています。CS委員会は、ご利用者様の満足度が向上するような方策を検討し、「よりよいサービスをより効率的に」提供させていただくことを目的としており、「ご要望や苦情を分析、検討する委員会を毎月開催しています。

今後とも、苦情がサービスの質の向上を図る上での重要な情報であると認識に立ち、苦情の内容を踏まえ、サービスの質の向上に向けた取り組みを行います。お気軽にご意見ご要望をお寄せください。

CS委員長 今中 峰三子



▶ご家族様、ご利用者様同士の交流の場

【ページ】

1. 福祉講座「地域で支える認知症」.....2
2. カンボジアのお坊さんがまやるちょーくへ
3. おもしろきかな我が人生
~立川 昇さん~.....3
4. あすか事業所だより.....4
5. あすか事業所だより.....5
6. 学会報告.....6
7. あすか9月のロードショー
8. 若竹句会 7月作品抄.....7
9. ホームページの紹介.....8

【目次】



月高き頃を
酔ひける
十三夜

▶書道参加のご利用者様作
カレンダー



理事長 高橋 勲

「地域で支える認知症」
認知症を正しく
理解するために！

地域密着型認知症対応型通所介護事業所「野ばら」を開設するにあたり、今年2月下旬に毘沙門台3地区の民生委員および社協の方にお集まりいただき、院長が「認知症について」のお話をさせていただきました。毘沙門台団地は高齢化が進んでおり、地域の役員の方々は、「老いても、認知症になっても、安心して暮らせる地域作り」を目指しています。そのため住民一人ひとりが、正しい知識を持つことが大切とのことで今回の講座が計画されました。7月8日の日曜日、当初の予想を超えて100人近くの方が参加くださいました。認知症のお話のと、私がお口のリハビリ体操、口腔ケアの大切さについての話をしました。お口のリハビリ体操も体験していただきました。参加くださった方の中には、「デイサービス、野ばら」ご利用者のご家族もいらつしやう、「デイサービスに通うようになってほんとうに元気になりました」という嬉しい感想をいただいたり、和気藹々の中で、活発な質疑応答があり楽しく講座を終えることが出来ました。民生委員、社協のみなさまには貴重な機会をいただいたこと感謝しています。老いを迎えるにあたり、介護保険、地域の施設や介護サービス、ネットワークなどについて正しい情報、知識を持つことがとても大切です。地域の皆様と一緒に「安心して老いることが出来る地域作り」に力を尽くしていきたいと思えます。

歯科衛生士 介護支援専門員 河原奈津

カンボジアのお坊さんがまやるちよーくに来られました！

あすかショ - トステイのリハビリトレ - ナの森本さんはカンボジアで日本語を教えたり、カンボジアとの文化交流に積極的に取り組んでいます。森本さんの紹介でカンボジアのお坊さんがまやるちよーくを訪問してくれました。3名のお坊さんとカンボジア人の通訳の方と滞在先の太光寺の方がいらしてくださいました。キハダ色の袈裟をまとったお坊さんたちはパーリ語のお経と般若心経を唱え利用者さんの中には唱和される方もありました。1年も広島に滞在されたお坊さんは日本語も達者で利用者の方々とも楽しく語りました。利用者の方々から「涙が出そうだった」「穏やかな顔をしておいてじゃねえ」などの感激の声がありました。すばらしい異文化との出会いが出来ました。ランハ - さんからお礼のお手紙をいただきました。一部を紹介します。



いつも日本語を教え、また今回の訪問の準備をいただいた森本さまに心からお礼申し上げます。そして、私や同僚の僧侶に親しみと思いやりを持って接して下さった施設のスタッフのみなさまにも深くお礼を申し上げます。快く受け入れていただいたおかげで、いろいろな部屋を訪ねてお年寄り心地よく話しをすることができました。

皆様方から、見習い学ぶべきことがたくさんありました。彼らはとても正直で愉快で好意的で、話していると心がなごみ、さわやかで居心地がよく、幸せな気分になりました。これまで知らなかった世界を体験することが出来ました。やさしく質問をして下さったこと、おだやかな言葉、親切なしぐさ、カンボジア僧が唱えるお経を心静かに聞いて下さったこと、お年寄りの微笑みと共にあった詠唱。すべて死ぬまで忘れられないすばらしいひとときでした。今でも夢の中でこれらの優しく穏やかで親切な声が聞こえ、はっきりと美しい笑顔が見えます。(略) 私は光栄にもこの訪問の時を仏によって恵まれました。たとえ言葉の壁は登るには高く、打ち破るには硬くても、何事も、親切で心地よく兄弟のような笑顔を通して理解しあうことが出来ます。

施設で過ごした2時間は、私にとって2秒かと思う程に速く過ぎ去っていきました。ご利用者の皆様と、温かく迎えて下さったスタッフとの別れは悲しいものでした。このすばらしい経験は私の心の底に残り、近い将来もう一度、できればもっと多く訪問の機会を得ることを願っています。

深謝と心からの敬意を込めて

フーム・ランハ-



大正6年9月20日生まれ(89歳)



「夫婦円満の秘訣は
相手の立場を認めて
無理な要求はお互い
にしないこと」

好きな食べ物...ステーキ

好きな言葉...平和

趣味...運動

アメリカ生まれ

私はアメリカで生まれて9年間暮らし
ました。アメリカの子供と野球をしたり、
かくれんぼやボール遊びを夢中になっ
ていました。二階建ての木造に住み、物
も十分にあつたので、小さな私でも早
くに自転車を買ってもらえ、アイスク
リームは毎日食べていました。勉強も好
きで、特に算数がよくで先生も驚くほ
どでした。子供のころはあんなに英語が
ぺらぺらだったのに、今ではすっかり忘
れてしまい、唯一覚えていることは
「United States of America (USA) ユー
ー・ドゥ・トゥ・ノウ」だけです。アメリカでの暮
らしはすくく良かったと思います。そし
て9歳の時日本に生まれました。その時は日
本語が全くわからず話を通じなかつた為、
当時3年生だったのに1級下の2年生と
して勉強することになり、手ぶりや行動
で表現しコミュニケーションを取って
いました。そのころの日本は物もなく不
自由でした。あの頃を思えば今の日本は
すくく恵まれていて、幸せだと思います。

バイクと車

私はアメリカ生まれだから、ハーレー
にあこがれていたのが大型バイクの免許
を取りました。そして自分の働いたお金
をこつこつ貯めて、ハーレーダビットソ
ンを買いました。当時の警察官でも乗ら
ないような大きなバイクです。ハンド
ルが広いので、私が乗ると姿勢が低く見え

バイクだけが走っているように見え
たそうです。毎朝、千代田から廿日市
へ仕事の通勤にも使っていました。
みんながびっくりして見ていました。
車の免許を取ってからは車に換えま
した。車も好きだったので、友達3人
と一緒に鹿児島までドライブに
行ったこともあり。すくくきれ
いな浜辺でした。H15年の85歳の誕
生日で車を走らすことはやめました。
今でも免許証は大切に持っています。
もちろんゴールドカードですよ。

働き盛り

40代になった頃、建設ブームに
のつて、それまでの経理事務から道
路工事へと職業を変えました。ブル
ドーザーを運転し、いろいろな道路
やグラウンドの整備をしました。54号
線や平和大道り、毘沙門の道など市
内でも大きい道路は私がほとんど整
備してきました。私が整備をすると
グレーダー(仕上げ)を通さなくて
いいと評判で、どここの建設会社も「立川
さんにして貰った方がいい」と言わ
れ、仕事は大変忙しかつたです。しゅ
りあちよーくから市内を眺めると
(あそここの道路もやったなあ...)と
雨の日も雪の日も一生懸命働いた
日々を思い出します。

そして...

私は3人の子供に恵まれ幸せです。
妻にはとても感謝しています。戦後
の不自由な時から一生懸命仕事をし、
そして今の幸せがあります。しゅり
あちよーくでは皆さんに良くして頂
き楽しく過ごさせてもらっています。
7月15日に孫の結婚式に出席しま
した。左の写真は曾孫(海斗)と一緒
に写った思い出のスナップ写真です。
私が89歳、曾孫6歳。長生きして良
かつたです。日々、成長していく姿を
みるのがなにより楽しみです。来
春のピカピカ一年生も是非見たいと
思っています。



立川さんは何にでも一生懸命です。ね
お話を聞いて色々な経験、苦労をされて
きたのだなとつくづく思います。
これからも夫婦円満で仲良く笑顔で長
生きしてください。

しゅりあちよーく 花本 ひとみ

ありがとうございました!



7月21日、「アンパンマンシリーズ」の贈呈式が行われました。これらは、天野田鶴子さん・吉田フサコさん・山本サカエさんが一生懸命作った作品です。小児科に受診することを楽しませようと小児科外来に贈ることになりました。副院長は、みなさまがたが丹精を込めて作られた作品をいただき感激です。とお礼を述べました。こどもたちは「アンパンマン」が大好きです。今、小児科の外来で子供たちを楽しませてくれていきます。

アンパンマン
小児科外来へ行く!



贈呈式

まやるちよーく

7/21

七夕短冊飾り



つどいの家



おいしそうに食べられる稲垣様

七夕の短冊作りを行いました。模造紙の笹の絵は書道の釈迦郡先生が書いて下さり、その絵に折り紙で飾りを作りました。こよりもご利用者様の手作りで、巻くときの力加減が大変無難しかったです。指先を水で少し湿らせ、クルクルと、皆さん器用に巻かれていました。願い事をそれぞれ書かれ、祈りを込めて飾りました。

「健康でありますように」(大北政子様 84才)

「100歳まで生きるぞ!!!」(岩本マツコ様 95才)

皆さんの願いが届きますように...

当日はご利用者様と一緒に紅茶ゼリーを作りました。午前中に調理し、午後固まったところで、盛り付けです。見た目もきれいでおいしくできあがりしました。

七夕コンサート

ショート

7/16



花飾りが
お似合いの川井様

七夕コンサートでは、「我れは海の子」「夏の思い出」「うみ」を皆さんで歌い、つどいの家とショートの中から5〜6名のご利用者様でハンドベルをしていただきました。出演者の皆さんは、何日も前からハンドベルを一生懸命練習され本番の当日!!

つどいの家は「たなばたさま」、ショートは「バラがさいた」を演奏していただき、最初は緊張気味だった方々も演奏し終えた後、「恥ずかしかったわあ〜」「すばらしかったよ〜」「練習が大変だったね!」と満面の笑みで皆さん大満足されていました。最後には、スタッフのギター演奏で「いい湯だな」を皆さんで歌い、手拍子と一緒に踊ってくださる方もおられ、笑顔の絶えないコンサートとなりました。



ハンドベルが上手な
正木さん(左)と藤川さん(右)



織姫?とツイショットで
「満悦の井尻様

しゅりあちょーく

野ばら

7/21

神楽発表会



土蜘蛛を征伐する二人の四天王の刀さばきに、利用者は拍手喝采、蜘蛛の糸がばあつと広がる様子に目を見張り、身を乗り出して見入り、最後に土蜘蛛が退治されたときは、涙を流されたご利用者様もおられました。
演目が終わると、「ご利用者様が、はなやかな衣装を着させてもらったり、神楽団の方に声を掛けられたりと、楽しく交流をされていました。」

綾西神楽団にお越し頂き、「葛城山」の演目で、華麗な舞を披露して頂きました。大和の国、葛城山に古くから住みついでいる土蜘蛛の精魂が侍女胡蝶に化け、典薬の守の使いと偽り、源頼光に毒を盛るところから話が始まります。
頼光は伝家の宝刀を四天王の二人に授け、土蜘蛛征伐を命じ、退治をします。

しゅりあちょーく

7/19

七夕音楽会

しゅりあちょーくでは七夕音楽祭を行いました。

まず、「ご利用者様が書かれた短冊を紹介させて頂きました。その中には、「足が良くなりますように」「元気にしゅりあちょーくに来れますように」「しゅりあちょーくで楽しく過ごせますように」など、一人ひとりとても気持ちのこもった願い事でした

それに引き換え、しゅりあちょーくの職員の願い事は「いつまでも綺麗で居られますように」「宝くじ6億円があたりますように」中には一人の職員が3枚も短冊を書いており、とても欲張りな内容にご利用者様は大爆笑！！

その後、職員2名とご利用者様3名で「きらきら星」「七夕」をハンドベルで演奏 綺麗な音色に皆さんうっとりされていました。

そして、しゅりあちょーくの吉本と呼ばれている劇団により、「しゅりあ版！七夕物語」を披露！男性職員、今岡さんが女装をして織姫役を。彦星はしゅりあのリダー、沖田さんが演じました。「意外と沖田さんは男性役が合うねえ」「こんなに笑ったらお腹痛くなるよ」と言われる程、皆さんお腹を抱えて笑っておられました！

今年は七夕当日は曇って天の川は見れませんでした。来年は見れると良いね」と今から楽しみにしています。



学会報告

「第6回パワーリハビリテーション学術大会について」

しゅりあちょーくサブリーダー 松本 勝幾

7月7日(土) 8日(日)に札幌コンベンションセンターで開催された『第6回パワーリハビリテーション学術大会～パワーリハビリテーションの新たな戦略』に参加しました。

その中でパワーリハビリテーションを提唱された竹内孝仁先生の講演「高齢者のリハビリテーションをとらえ直す」の一部をご紹介します。

講演内容

高齢者の機能回復訓練(リハビリテーション)はOT(作業療法士) P T (理学療法士)だけでなく、介護スタッフも理論や技術を学び、実践していく必要がある。そして高齢者の機能と回復の理論はパワーリハビリにあるといわれている。

高齢者の機能回復訓練を行う上での基本視点は3つある。1つめは高齢者のADL(日常生活動作)とIADL(手段的日常生活活動)の構造を理解することであり、大切なことは、体力と活動力がベースにあるということである。自立した生活を送るためにはベース部分の体力・活動力を高めていく必要がある。活動力は歩行力のことであって、ベース部分が維持されてはじめて図1の2階部分の機能・意欲・環境が活かされてくる。その中でも意欲は大きなウエイトを占めているといわれる(図1参照)。2つめは食事・排泄・入浴・家事などのADLを横並びで考えてしまいがちだが、人間のADL(特に高齢者)は、歩行移動力がベースになっている。歩行移動力があって、その上に食事・排泄・入浴・家事などが乗ってくる(図2参照)。つまり歩くことができれば自分でトイレに行けるし、オムツを使わなくても済むといったことである。3つめは体力・活動力に視点を置いた時に、基本的なケアができていなければ、意味がないものになってしまう。例えば、水分補給が十分でなかったり、栄養状態が良くないのにリハビリを行うことはナンセンスということである。**水分・栄養・排泄・活動力**の(竹内先生は水・飯・糞・運動と言われています)。4つがしっかりしていないと、体力・活動力は根本から失われてしまい、歩行に結びつくことが土台から崩れてしまう。自立性を回復していくためには、上記のいくつかの基本的な視点が必要であり、結果的にはケア全体が自立に向かうことが望まれる。

まとめ

パワーリハビリとは、筋力強化が目的ではなく、弱くなった「活動力」を高めることを目的としたマシンを使用したリハビリです。例えば、歩くのが遅くなった、時間がかかるようになったというのは単に筋力低下のためではなく、体のあちこちで使わなくなった筋力が増えているのが原因であると言われてしています。そこでパワーリハビリのマシンを使うことでリズムカルな往復運動を行い、休んでいる筋肉を再び動かし、その動きを体で思い出すこと(不活動筋肉の再活動化)を促していくことが可能になります。

学会を通じて、パワーリハビリの先駆的な取組み、そして着実な成果などの症例発表から、パワーリハビリが様々な可能性を秘めている分野であると改めて感じました。この成果が利用者の皆様の日常生活に活かされるように支援させて頂きたいと思います。

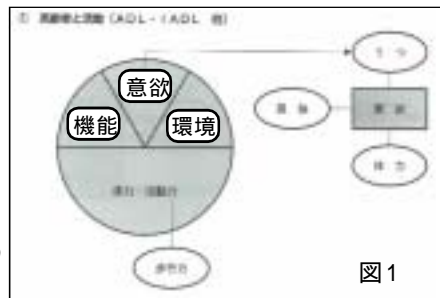


図1

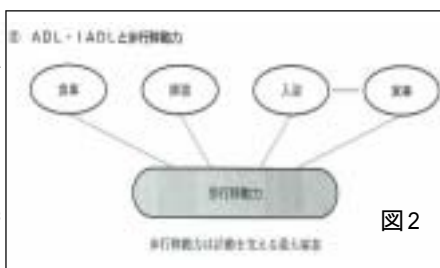


図2



あすか 9月のロードショー

トリフ大爆笑 【30周年記念傑作大全集】

この映画は ショートステイで9/16(日)
まやるちょーくで9/18(火)
しゅりあちょーくで9/21(金) に上映します。

各事業所では上映する映画についてのアンケートを実施中です。皆様のご希望により新しい映画もどんどん上映していきます。各事業所のシアター開催曜日は下記の通りです。

しゅりあちょーく	まやるちょーく	ショートステイ
毎週月・火・金曜日	毎週月・火・金・土曜日	毎週日曜日

若竹句会七月作品抄

信廣高陽 選 (平成十九年)



せいいつぱい 今を灯して 蛍かな

河野 一枝

〔寸評〕「せいいつぱい」は、力の限りを尽くすさまをいいます。蛍火を見た作者の人生観ともいえる力作です。人間も自然の一部です。蛍に負けないように一日一日を大切に生きたいものです。

みずぎわ
水際で 蛍の光 足をとめ

常広 信枝

〔寸評〕水辺に光りながら飛ぶ蛍、発見したときの喜びをそのまま一句にしたのですね。「足をとめ」に切実感を覚えます。

紫陽花も 水したたらせ 晴れ間待つ

中谷 明子

〔寸評〕梅雨時の紫陽花の写生句。晴れ間が恋しい季節、中七の「水したたらせ」が生きています。



飾り牛 笛や太鼓で 花田植え

西 富枝

〔寸評〕飾り立てた牛が代掻きをしたあと、大勢の早乙女が華やかに笛、太鼓、さらなどの囃子と歌に合わせて早苗を田に挿してゆく。県の無形文化財に指定されていますね。花田植えが仲夏の季語。

はなしょうぶ
花菖蒲 時を忘れず 匂うかな

大北 政子

〔寸評〕「花菖蒲」は水辺を好む植物で、鋭い葉の中から高い花茎を立てて大きな花を開きます。「菖蒲見」という季語もあるように、お花見につづく東京下町の人の風流だといわれています。中七の「時を忘れず」は季節の移り変わりに敏感に反応した一句です。

横一列 田植実習 小学生

栗根 年雄

〔寸評〕小学校の「総合的な学習の時間」で田植えの実習風景を捉えた一句。名詞と名詞とがぶつかり合って並んでいると無愛想になりがちですが、初体験の賑わいなども感じさせる一句です。

想い出を ひろいあつめて 梅雨最中

伊木 幹枝

〔寸評〕梅雨最中ともなると外出もままならず家に閉じこもって思い出にふける一時も楽しいものです。中七の「ひろいあつめて」からは、中には思い出したくない思い出もあるのではないだろうか。

紫陽花も まぶしき空に 不満顔

山縣 龍三

〔寸評〕紫陽花の花期は梅雨さ中、ふと晴天がのぞくことがあります。ふだん暗い雨雲に閉ざされているだけに晴天はありがたいものと思っていました。紫陽花の「不満顔」で納得しました。作者得意の俳諧味もある佳句です。

傾きて 雨をためてる 額の花

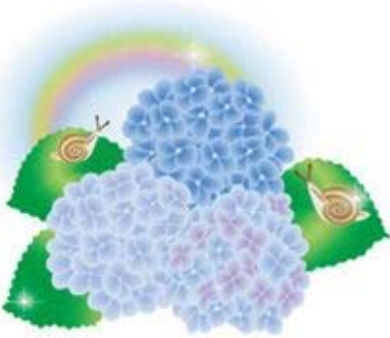
奥田 アヤコ

〔寸評〕「額の花」は、額紫陽花の花の略。紫陽花のような華麗さはありませんが、清楚で素朴な感じがします。花の中心に粒々を沢山つけているので、「雨をためて」重そう。

選者 吟

梅漬ける 女盛りの 腕捲り

信廣 高陽



ホームページの紹介



あすかのホームページをご紹介します。
第4回目は絵画です！

インストラクターの紹介

かわくち あや
川口 彩 先生

平成19年7月から、まやるちょく・しゅりあちょくの絵画講師を勤めています。現在店舗などの壁画制作を中心に、幼稚園の絵画講師もしており、いろいろな年代の方と関わってみたいと思っていましたので、この度あすか講師のお話をいただいて、とてもわくわくしています。前講師の先生の進行を自然に引き継いで、みなさんが楽しみながら創作活動できる雰囲気を作っていきたいと思います。



川口 彩先生

「長い間ありがとうございました！」

あすかでまやるちょく開設当初から12年間絵画講師を勤めていただいた、重広可訓先生が退職されました。7月13日(金)は、絵画メンバーさんが集まり重広先生の送別会を行いました。重広先生より、「利用者みなさんは優しい方ばかりなので、こんなに長く勤めることができました」と感謝の言葉を述べられると、利用者の方からも感謝の言葉と、色紙・花束が贈られ、涙・涙のお別れ会となりました。重広先生は、絵画指導だけでなく、空き時間に折り紙を教えてください、利用者の方とのふれあいも大事にされていました。長い間、本当にありがとうございました。



絵画メンバーさんと記念撮影（後列中央重広先生）

医療法人あすかの理念・3S

～当法人はISO9001の認証施設です～

1. **Specialist** (専門家): 職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。
2. **Sympathy** (共感): 職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要なサービスを継続的に提供します。
3. **Safety** (安全): 職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

【編集後記】

カンボジアのお坊さんがまやるちょくに来られ、後日英語で感想をたくさん書いて下さいました。通信ではその一部しか掲載できなかったのですが、とても深い思いが伝わってきました。平成18年5月号からカンボジア体験記を掲載していました。その時にも、カンボジアという貧しい国で懸命に生きる人々、その中で勉学に励む若者達に感動しました。この度の訪問をお坊さん達がとても喜んでくださったことはとても嬉しいです。

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美・富永 さゆり)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

あすか通所介護事業所	082・830・0552	野ばら
あすか小規模多機能型居宅介護事業所	082・870・6704	つどいの家
あすか福祉用具貸与事業所	082・830・5177	
あすか訪問介護事業所	082・830・5177	みどりの木
あすか短期入所生活介護事業所	082・870・6700	
あすか通所介護事業所	082・830・0552	しゅりあちょく
あすか通所介護事業所	082・870・3800	まやるちょく
高橋内科小児科医院	082・879・3143	
あすか居宅介護支援事業所	082・830・5177	

高齢者の在宅療養を支援します

“ニューズレターあすか”は当法人のホームページ上でも見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>